

Data Recording, Reporting And Related

Requirements for DAP Clients

データ記録、報告、および関連する要求事項（DAP顧客用）

For DAP Client Use（DAP顧客用）

Revision 10.0 – データシートのカバーページへ、次の要求事項を含むために改訂した。
いずれか1つが記載されている場合、評価した規格の規格発行日又は改定日を明確にする。

目的

- 本文書は、データ・アクセプタンス・プログラム（DAP）のデータ記録、および報告に関する UL 要求事項を記載している。
- 本情報は、以下の DAP 顧客（CTDP、TPTDP、PPP および TCP）、および上記 DAP プログラムに基づく UL へのすべてのデータ提出に適用される。
- 本文書に記載される情報に関して質問があれば、支援を受けるためにインダストリーの DAP コーディネーター、またはローカル UL スタッフに連絡すること。

なぜこれら要求事項が重要なのか

- 特定された DAP に従って UL に提出されたすべての情報は、規格および認定要求事項を支援するために、これら要求事項に準拠しなければならない。
- データシート・パッケージに記録される情報が正確で、技術的に正しく、実施された試験業務を的確に説明していることを保証するため。
- 記録された性能と構造データは、（要求された場合に）要求事項を満たしていることの書面化された証拠となる。

適用文書

- 規格
- UL ブリテン（該当する場合）
- CRD（認証要求決定事項）（該当する場合）
- Technical Information Letter（該当する場合）
- IECCE Operational Document（該当する場合）
- CIG (Common Interest Group) Decisions（該当する場合） - EN 規格の欧州の解釈
- CTL (Committee of Testing Laboratories) Decisions（該当する場合）
- 国家間相違（該当する場合）
- CTL Operational Procedure（該当する場合）
- プログラム要求事項（該当する場合）

責任

DAP 顧客

- 本文書に含まれるデータ記録および報告に関する要求事項と共に、該当する場合は特定プログラム要求事項に準拠すること。
- データシート・パッケージに記録される情報は、可能であれば、不確かさに影響する要因の識別を促進し、出来る限りオリジナルと近い条件で試験を繰り返せるほど十分な情報を含むことを保証してください。

ULは、ここに参照されるいかなるベンダーまたは製品も支持しない。

ULは、この情報に関していかなる漏れまたは間違いまたは不正確に対する責任を負わない。ULは商品性のいかなる保証も、特定目的のための適合性を含む、この情報の正確さ、条件、品質、定義または妥当性に関して、明確または暗黙にでも、いかなる種類の代表または保証もせず、明確に同等のことを放棄する。

UL LLC。著作権所有。許可なしで複製されてはならない。この文書はコントロールされており、電子的に公表されている。UL イン트라ネットのバージョンが最新の文書である。ハードコピーはコントロールされておらず、最新でないかもしれない。ハードコピーのユーザーは、電子コントロールされているバージョンと比較することで、改訂箇所を確認するものとする。



Data Recording, Reporting And Related

Requirements for DAP Clients

データ記録、報告、および関連する要求事項（DAP顧客用）

- 適用されるデータシート、特定された規格、CTL Decisionや Operational Procedure、およびその他該当文書に記載される通りに、すべての適用方式に従ってください。
 - 試験スタッフへの指示書の中で、規格が参照されるような場合、規格の該当セクションの最新コピーを、試験の実施においてすぐに利用できるようにしてください。「すぐに利用できる」というのは、プリントされたローカルコピー、またはオンデマンドの電子プロバイダーまたは保管庫へのアクセスを意味する場合があります。

要求事項

データシート要求事項

- 試験結果を記録するにはULデータシートもしくはULが承認したデータシートのみを使用することが推奨される。
- 顧客が作成したデータシートに関しては以下が要求される：
 - 英語ではなければならない。データシートが英語で提出されない場合、元々の未翻訳のデータシートと共に、英訳を提出するものとする。
 - 電子的に提出される場合、ULに互換性のあるプログラムを使用しなければならない（MS Wordが推奨される）
 - 埋め込みオブジェクトは使用しないこと
 - 文書の最新版を特定できるように発行日または改訂日が記載され、試験所の文書管理システムの管理文書であることが推奨される。
 - 事前に印刷された各数値には、単位を付けるものとする。単位は、規格の要求事項に記載されている単位と同一であるものとする。
- データシートの各ページ（表紙を含む）は以下を含むものとする：
 - アプリカントのファイル番号（任意）
 - プロジェクト番号 – またはデータシートを具体的な評価に関連付ける「固有の識別子」。

データシートをULプロジェクト番号と関連させるために固有の識別子を使用する場合、何らかの不適合があった時にトレーサビリティを保証することは顧客の責任である。

- ページ番号一連番ページ（page X of Y書式が推奨される）。ページが順番に番号付けされていない場合、挿入するすべてのページは、以下の番号付けスキームを使用するものとする：

以下のページ間に挿入す	使用するページ番号	順番の例
-------------	-----------	------

ULは、ここに参照されるいかなるベンダーまたは製品も支持しない。

ULは、この情報に関していかなる漏れまたは間違いまたは不正確に対する責任を負わない。ULは商品性のいかなる保証も、特定目的のための適合性を含む、この情報の正確さ、条件、品質、定義または妥当性に関して、明確または暗黙にでも、いかなる種類の代表または保証もせず、明確に同等のことを放棄する。

UL LLC。著作権所有。許可なしで複製されてはならない。この文書はコントロールされており、電子的に公表されている。ULイントラネットのバージョンが最新の文書である。ハードコピーはコントロールされておらず、最新でないかもしれない。ハードコピーのユーザーは、電子コントロールされているバージョンと比較することで、改訂箇所を確認するものとする。



Data Recording, Reporting And Related Requirements for DAP Clients

データ記録、報告、および関連する要求事項（DAP顧客用）

る場合		
1 and 2	1A, 1B, ... 1Z, 1AA, etc.	1, 1A, 2
1A and 1B	1A1, 1A2, etc.	1A, 1A1, 1B
1A1 and 1A2	1A1A, 1A1B, etc.	1A1, 1A1A, 1A2
1 and 1A	1-1, 1-2, etc.	1, 1-1, 1A
1-1 and 1-2	1-1A, 1-1B, etc.	1-1, 1-1A, 1-2
1-1A and 1-1B	1-1A1, 1-1A2, etc.	1-1A, 1A1, 1-1B

このような場合は、合計ページ数として合計とともに次の文章：「追加ページ（挿入されたページを特定）を含む」を記載しなければならない。

除外事項：

電子データシート - ソフトウェア機能による自動ページ番号付けを使用することができる。プロセスの途中で紙コピーが正式記録とならない限り、データシート・パッケージ全体を通してのページ番号付けは任意である。

- データシートに記入される日付は「YYYY-MM-DD」の形式とし、YYYY は年、MM は 01（1月）から 12（12月）までの年内の月、DD は 01 から 31 までの月内の日である。
- 除外事項：試験規格の発行日および最新改訂日または日付形式が不明瞭でないという条件で試験機器の校正記録。
- 表紙はさらに以下の情報を含まなければならない：
 - 合計ページ数
 - アプリカントの名前
 - 試験が実施された場所の名前と住所
 - 適用規格の識別番号、版または発行日、および改訂日（いずれが1つが記載されている場合、最新の改正日でも可）
 - 実施された試験リスト。（実際に実施された試験のみ、リストされるべきである）
 - 製品が一つ以上の規格、例えばカナダ、IECまたは複数のUL規格に対して評価されている場合、その規格は特定され、実施された試験リストは各規格に対して相関されなければならない。

ULは、ここに参照されるいかなるベンダーまたは製品も支持しない。

ULは、この情報に関していかなる漏れまたは間違いまたは不正確に対する責任を負わない。ULは商品性のいかなる保証も、特定目的のための適合性を含む、この情報の正確さ、条件、品質、定義または妥当性に関して、明確または暗黙にでも、いかなる種類の代表または保証もせず、明確に同等のことを放棄する。

UL LLC。著作権所有。許可なしで複製されてはならない。この文書はコントロールされており、電子的に公表されている。UL イン트라ネットのバージョンが最新の文書である。ハードコピーはコントロールされておらず、最新でないかもしれない。ハードコピーのユーザーは、電子コントロールされているバージョンと比較することで、改訂箇所を確認するものとする。



Data Recording, Reporting And Related

Requirements for DAP Clients

データ記録、報告、および関連する要求事項（DAP顧客用）

規格間で関連する試験タイトルが異なる場合、タイトル間の相関が行われ、各規格からの該当条項が特定されるものとする。一つの試験の要求事項に従って試験することが、別の規格で適用される要求事項を代表すると見なされる場合、この代表権は試験方法の中で明確に記録されなければならない。複数規格の類似試験における2つ以上のワーストケースパラメーターを代表するために一つの試験が実施された場合、実施された一つの試験と、それが代表しようとしている試験を特定する相関が提供されなければならない。

- 記述「Unless specified otherwise in the individual Methods, the test shall be conducted under the following environmental conditions. Confirmation of these conditions shall be recorded at the time the test is conducted.」を記載し、規格に環境条件が指定されている場合、もしくはそれが測定の結果を無効にしたり、悪影響を与える場合は、それに続いて適用条件のリストを記載すること。もし一般的な環境条件が規格に指定されていなかった場合、記述と条件リストの代わりにこれを指摘すること。

例：

個々の方法で他に規定のない限りは、試験は以下の環境条件で実施しなければならない。これらの条件の確認は、試験を実施した時に記録しなければならない。

Ambient Temperature, C	±	Relative Humidity, %	±	Barometric Pressure, mBar	±
---------------------------	---	-------------------------	---	---------------------------------	---

“OR”

No general environmental conditions are specified in the Standard(s) or have been identified that could affect the test results or measurements.

(参考訳：試験結果または測定値に影響を及ぼす可能性のある一般的な環境条件で、規格に規定された、または特定されたものはない。)

ULは、ここに参照されるいかなるベンダーまたは製品も支持しない。

ULは、この情報に関していかなる漏れまたは間違いまたは不正確に対する責任を負わない。ULは商品性のいかなる保証も、特定目的のための適合性を含む、この情報の正確さ、条件、品質、定義または妥当性に関して、明確または暗黙にでも、いかなる種類の代表または保証もせず、明確に同等のことを放棄する。

UL LLC。著作権所有。許可なしで複製されてはならない。この文書はコントロールされており、電子的に公表されている。UL イン트라ネットのバージョンが最新の文書である。ハードコピーはコントロールされておらず、最新でないかもしれない。ハードコピーのユーザーは、電子コントロールされているバージョンと比較することで、改訂箇所を確認するものとする。



- データパッケージは以下の情報を含まなければならない：
 - サンプルID
 - サンプルへの責任を特定するために次の一つ以上：メーカー、アプリカント、工場、および/または必要に応じてサンプルの供給源。
 - 試験されたサンプルの明確な識別/説明。同一モデルの複数サンプルが関係している場合は、固有の識別子。
 - 試験されたサンプルの試験結果への明確な相関。定格（必要な場合）
 - 試験機器（校正されたものと、初期校正されただけのもの（ICO））は試験結果に明確に相関され、試験機器の部位毎に以下の情報が記録される：
 - 機器タイプ（電圧計、プレッシャーゲージ等）
 - 固有の識別子（器具番号；メーカー名、モデルおよびシリアル番号；資産番号等）
 - 試験に測定の不確かさのための要求事項がある、または、機器に使用制限がある場合は、複数範囲/機能を備えた器具において使用される機能範囲。
 - 最後の校正日または、ICO機器の最終「確認日」
 - 校正満了日または、ICO機器の次回「確認日」
 - 各試験に使われるアルコーブ、重り、インパクトボールなどの器具や試験補助資材を含む校正されていない機器は、少なくとも「機器のタイプ」を識別し、実施される試験に明確に相関されなくてはならない。
 - 校正されていない機器を使用する前に適合確認のために使われる校正済み機器に関しても、上で特定されている情報（機器タイプ、固有の識別子、機器範囲、最終校正日、校正満了日）を記録し、試験結果に明確に相関しなければならない。

DAP顧客がレンタル機器を使用している場合、顧客は機器のMake/Model/Serial番号も記載し、機器をレンタルされたものとして識別しなければならない。

- 規格とその版を参照することによって、および/または、試験実施に関

ULは、ここに参照されるいかなるベンダーまたは製品も支持しない。

ULは、この情報に関していかなる漏れまたは間違いまたは不正確に対する責任を負わない。ULは商品性のいかなる保証も、特定目的のための適合性を含む、この情報の正確さ、条件、品質、定義または妥当性に関して、明確または暗黙にでも、いかなる種類の代表または保証もせず、明確に同等のことを放棄する。

UL LLC。著作権所有。許可なしで複製されてはならない。この文書はコントロールされており、電子的に公表されている。ULイントラネットのバージョンが最新の文書である。ハードコピーはコントロールされておらず、最新でないかもしれない。ハードコピーのユーザーは、電子コントロールされているバージョンと比較することで、改訂箇所を確認するものとする。



Data Recording, Reporting And Related

Requirements for DAP Clients

データ記録、報告、および関連する要求事項（DAP顧客用）

する具体的説明などによって試験方法を説明してください。試験方法からのいかなるデビエーション、追加、または除外事項は文書化され、技術的に立証され、ULによって承認されなければならない。

- UL作成の、もしくは顧客作成のデータシートが使用されたかどうかに関わらず、すべてのデータ記録および報告要求事項が満たされていることを保証するのは顧客の責任である。

Requirements for completing data sheets

- 試験条件が確立されたことを確認するための試験を含む、すべての試験の都度、実測値はすべて観察される都度に、データシートに直接記録すること。以下のような記述は容認できない：数量が最大許容値より少ない、または最小許容値より多い、またはすべての試験において Breakdown（絶縁破壊）は起きなかった等の要約記述。
- すべてのデータとその他の情報は、電子的に、または黒色か濃青色のインク等の永久的手段を使用して記録するものとする。
- データシートページを記入するために、以下の手順はいずれも使用しない：
 - ULの承認なしにその他の色インクを使用してはならない
 - ハイライトによる表示、斜線またはバックグラウンドの色づけは使用してはならない。
 - データシートページの裏側には書き込んではならない。
- 余白へのメモ書きは、情報が適切にコピーまたはスキャンされるためにも最小限にするものとする。
- 試験が実施された各回の日付を、結果（データ）を含むすべてのデータシートページに明確に示すものとする。
 - 試験が記録されている日に完了されなかった、または完了できなかった場合、試験の各回の開始および終了日を記録するものとする。
- 試験方法への変更（規格に記載される試験を実施しなかった等を含む、）はその変更の根拠と共にデータシートに記載されなければならない。
- DAP顧客の場合、Microsoft Wordの変更履歴機能の使用は認められない。
 - データシートの作成中に、変更が行われた場合、該当しない説明上に一本の取消し線を引き、消されたアイテムの隣にすべての変更点を追記するものとする。
 - 情報を記録したDAP顧客代表者は、情報にイニシャルと日付を入れなければならない。
- 試験結果に関して入力ミスをしてしまった場合、ミスの修正にはミスにきちんと取消し線を入れ、正しい情報を記録し、変更点にイニシヤ

ULは、ここに参照されるいかなるベンダーまたは製品も支持しない。

ULは、この情報に関していかなる漏れまたは間違いまたは不正確に対する責任を負わない。ULは商品性のいかなる保証も、特定目的のための適合性を含む、この情報の正確さ、条件、品質、定義または妥当性に関して、明確または暗黙にでも、いかなる種類の代表または保証もせず、明確に同等のことを放棄する。

UL LLC。著作権所有。許可なしで複製されてはならない。この文書はコントロールされており、電子的に公表されている。UL イン트라ネットのバージョンが最新の文書である。ハードコピーはコントロールされておらず、最新でないかもしれない。ハードコピーのユーザーは、電子コントロールされているバージョンと比較することで、改訂箇所を確認するものとする。

**Data Recording, Reporting And Related****Requirements for DAP Clients****データ記録、報告、および関連する要求事項（DAP顧客用）**

-
- ル、日付、そして変更理由を記入するものとする。
- テキストを完全に消し去ったり、データに上書きしたりしないこと。修正テープや「ホワイト（修正液）」等の修正器具は使わないこと。電子的にデータを記入する場合は、テキストは直接挿入するか、その他のテキストを完全に消し去らない限りは、Microsoft Wordの「テキストボックスの挿入」機能を使用して行っても良い。データ記録にはMicrosoft Wordの「コメントの挿入」機能を使用してはならない。
 - 資格認定されたスタッフのみが試験を実施できる。試験を実施した人の名前は試験毎に記録されなければならない（誰がどの各試験を実施したかが明確でなければならない）。
 - 「Authorized Signatory」は表紙に署名し日付を入れなければならない。（各試験施設は「Authorized Signatory」を持たなければならない。署名者の責任は、試験が有資格者のテクニシャンによって実施されたことを保証し、提出前にすべてのデータをレビューしそれが該当するすべてのDAP要求事項に準拠していることを保証することである）。
 - 事前に印刷された結果がデータシートに記載されている場合、チェックボックスを使って指定したり、または該当しない任意のテキストに取消し線を引いたりして、該当する回答を選択すること。この取消し線には、イニシャルまたは日付を必要としない。
例：
 There was no indication of breakdown.
 Breakdown occurred.
Or
Breakdown occurred did not occur].
 - 記載する数値データは、計測単位を明確に示すものとする
 - 記録された結果の解釈に影響する可能性のある、試験中に観察されたすべての異例、説明不能、または変動する条件にも注意し記録するものとする。
 - 抵抗温度計算、単位の換算率の変更等、計算式はすべてそれが行われた時に記録する。
 - 規格が試験のための環境条件を規定している場合、または、試験結果や測定に影響する可能性のある環境条件が特定されている場合、試験時の環境条件がデータシートに記録されなければならない。さらに、その測定のために使用された機器がデータシートに記載されなければならない。（データシートにこれらのデータを記録する場所がない場合でも、Product Testing Staffは、引き続き規格で記載されていれば試験の環境条件を記録するよう要求される。）環境条件が規格の要求事項
-

ULは、ここに参照されるいかなるベンダーまたは製品も支持しない。

ULは、この情報に関していかなる漏れまたは間違いまたは不正確に対する責任を負わない。ULは商品性のいかなる保証も、特定目的のための適合性を含む、この情報の正確さ、条件、品質、定義または妥当性に関して、明確または暗黙にでも、いかなる種類の代表または保証もせず、明確に同等のことを放棄する。

UL LLC。著作権所有。許可なしで複製されてはならない。この文書はコントロールされており、電子的に公表されている。UL イン트라ネットのバージョンが最新の文書である。ハードコピーはコントロールされておらず、最新でないかもしれない。ハードコピーのユーザーは、電子コントロールされているバージョンと比較することで、改訂箇所を確認するものとする。

**Data Recording, Reporting And Related****Requirements for DAP Clients****データ記録、報告、および関連する要求事項（DAP顧客用）**

に適合していない場合は、試験は実施してはならない（但し、顧客が技術的根拠を文書化し、ULによる承認を得ている場合はその限りではない）。

- 結果は規格の要求事項と同じ測定単位で記入しなければならない（またはけた違いだけの違いとする一例例えばmVとV）。元々の観測値が規格の要求事項と同じ単位でない場合、規格で指定される単位へと数値を換算し、使用した換算率を含む、換算式を（データシートまたは参照添付文書に）記録すること。
- **Method**および/または**Results** セクション。特定製品に試験を実施するのにどの**Method**およびどの**Results** オプションが使用されたかを明確すべきである。これは、それぞれにどの**Method**に従い、どの**Result**が記載されたかを明記することで達成される。これは次のオプションのいずれかによって達成される：
 1. 該当しない**Method**および/または**Result**のセクションまたは一部は、使われてない記述に対して取り消し線を引き、イニシャルと日付を入れるものとする。**Method**セクションのみの場合は、データシートの準備段階で記入された場合はイニシャルと日付は必要ない。
 2. セクション内の該当しないパラグラフ又はセクションは「N/A」として示し、イニシャルと日付を入れるものとする；または
 3. 当該**Method**の選択のために、チェックボックスが用意されている**Method**記述の場合は、当該チェックボックスにチェックを入れ、該当しないチェックボックス（例、複数の**Method/Condition**を持つ試験のうち不要な**Method/Condition**）には引き続きチェックを入れないままとする。これがデータシートの準備段階で記入された場合はイニシャルと日付は必要ない。結果の事前印刷については、上記の個条書き項目をご参照ください。
- データを電子的に記録する場合、ミスの修正は間違ったデータを削除したり置き換えたりするよりも、「取消し線」の使用や、変更の理由が明らかではない場合はイニシャルを追加することによって、それに電子的に等しいものにならなければならない。（例を参照のこと）
 - **Microsoft Word** の変更履歴機能を使用することは、この要求事項を満たすに十分ではない。

例:

RAF 2005-10-26 Used more accurate

ULは、ここに参照されるいかなるベンダーまたは製品も支持しない。

ULは、この情報に関していかなる漏れまたは間違いまたは不正確に対する責任を負わない。ULは商品性のいかなる保証も、特定目的のための適合性を含む、この情報の正確さ、条件、品質、定義または妥当性に関して、明確または暗黙にでも、いかなる種類の代表または保証もせず、明確に同等のことを放棄する。

UL LLC。著作権所有。許可なしで複製されてはならない。この文書はコントロールされており、電子的に公表されている。UL イン트라ネットのバージョンが最新の文書である。ハードコピーはコントロールされておらず、最新でないかもしれない。ハードコピーのユーザーは、電子コントロールされているバージョンと比較することで、改訂箇所を確認するものとする。



Data Recording, Reporting And Related

Requirements for DAP Clients

データ記録、報告、および関連する要求事項（DAP顧客用）

Maximum Voltage	5 vdc	Measured Voltage	4.98 vdc (RAF 2005-10-26 used more accurate range)
-----------------	-------	------------------	--

テキストボックスを挿入して情報を入力するか、取消し線を引いたデータの隣にタイプする。

- ファイル番号、プロジェクト番号、ページ番号だけでなく、試験タイトル、日付や試験が実施された期間、範囲、速度、その他関連する情報が、データパッケージに含まれるIntermediateデータ(例えばチャートレコーダーや器具からのプリントアウトなど)の全ての文書に記載されること。スケッチや図面は元々の観察事項と見なされる。Intermediateデータがデータシートに要約されている場合、その元々のデータをULに提出しなければならない。
 - 補足情報—元々のデータを実際に記録した人とは別の人がデータシートに入力したすべての表記、スケッチ、図面や記述は、元々記録されたデータの一部ではなく、補足情報であることを明確に示されなければならない。入力を行った人は、追加情報にイニシャルと日付を入れるものとする。
 - 前回試験において不合格試験結果が得られたために、試験を繰り返すことになった場合は、不合格試験結果で不適合を示し、次に試験が実施された事例を参照するものとする。（例えば：“Non-compliant test results, see ___ for testing of revised construction.”）。サンプル ID は、リピート試験に使用された改訂サンプル構造を特定するものとする。
 - 試験がその他の理由のために繰り返された場合、その試験のすべての元データには取消し線を引き、変更点には日付とイニシャルを付け、データに取消し線を引いた理由をデータシートに記載するものとする。これは、試験をリピートする前に実施するものとする。
 - 記録の終わりを明確に識別すること。
-

以上

ULは、ここに参照されるいかなるベンダーまたは製品も支持しない。

ULは、この情報に関していかなる漏れまたは間違いまたは不正確に対する責任を負わない。ULは商品性のいかなる保証も、特定目的のための適合性を含む、この情報の正確さ、条件、品質、定義または妥当性に関して、明確または暗黙にでも、いかなる種類の代表または保証もせず、明確に同等のことを放棄する。

UL LLC。著作権所有。許可なしで複製されてはならない。この文書はコントロールされており、電子的に公表されている。UL イン트라ネットのバージョンが最新の文書である。ハードコピーはコントロールされておらず、最新でないかもしれない。ハードコピーのユーザーは、電子コントロールされているバージョンと比較することで、改訂箇所を確認するものとする。